



ちょボラだよ



この事業は赤い羽根共同募金の配分金を活用し、実施しました。

新見市社会福祉協議会では、学童期からのボランティア活動として、自分にもできる「ちょっとしたボランティア“ちょボラ”」を推進しています。この取組は、思いやりの心やボランティア意識を育むことを目的として、毎年市内の小中学生に取り組んでいただいております。

今年度は、10月～12月の間に2週間の取組期間を各校で設定していただき、市内17校411名の児童が取り組みました。

各学校の取組状況

| 学校名 | 取組学年 | 学校名 | 取組学年 | 学校名 | 取組学年 |
|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 千屋小学校 | 3～6年生 | 刑部小学校 | 4～6年生 | 本郷小学校 | 4～6年生 |
| 西方小学校 | 4～6年生 | 上市小学校 | 4～6年生 | 神代小学校 | 3～6年生 |
| 塩城小学校 | 3～6年生 | 新見南小学校 | 4～6年生 | 新砥小学校 | 3～6年生 |
| 草間台小学校 | 5～6年生 | 井倉小学校 | 3～6年生 | 高尾小学校 | 4～6年生 |
| 神郷北小学校 | 2～6年生 | 野馳小学校 | 3～4年生 | 矢神小学校 | 3～4年生 |
| 萬歳小学校 | 3～6年生 | 思誠小学校 | 4年生 | | |

児童たちの主な取組紹介

- ・近所のお年寄りの話し相手やお手伝いをした
- ・地域の行事に参加し、ごみ拾いや分別をした
- ・スーパーのカートをきれいに片付けた
- ・病院で座りやすいように端に座った
- ・お店で次の人が通るまでドアを開けて待った
- ・道路に落ちている大きい石を端に寄せた
- ・小銭の募金を少しずつした
- ・公園や集会所の落ち葉はきや草むしりをした
- ・地域の人へ気持ちのいい挨拶を心がけた
- ・ペットボトルやキャップ、牛乳パックのリサイクルをした
- ・古切手やベルマークを集めた など



児童の感想

◇意識して大きな声であいさつができるようになり、相手にも気持ちよく聞こえたと思います。近所の方とたくさんふれあうことができ、笑顔を届けられたり、お年寄りのお手伝いできて地域とのつながりが深まったと思います。

◇はじめて他人のごみを拾いました。いつも気づかないうちに自分の落としたゴミも誰かが拾ってくれているのだらうと気づきました。

◇ちょボラをするといろんな人が笑顔になり、ありがとうと言われ、相手も自分もみんなが気持ちよく、うれしくなると気づきました。

◇身近なことでできることはたくさんあると感じました。あいさつやごみ拾いはいつでもできるので、自分の住む地域が気持ちよくなるように続けていきたいです。



ご家族からのことば

◇みんなにとってうれしいことや気持ちのいいことを行くと、とても助けられ心も和みます。小さなことでもみんなが気持ちよく住むことができる大きな力になるので、これからもがんばって続けてください。

◇特別なことでなくても周りの人や環境に意識を向けて、気づいたことをやっていってくれたらいいなと思います。

◇ちょボラは地域とのかかわりも生むよい取組みなのでこれからも続けられるといいね。1つ良いこと、1日気持ちよく過ごせて素晴らしいです。

◇子どもと一緒にできる事をゆっくり考え、取り組めていい経験になりました。家族でも心がけて一緒に取り組んでいこうと思います。



あとがき

2週間、ちょっとした思いやりをもって様々なちょボラ活動を行い、地域の人たちが助けられ、笑顔の花がたくさん咲きました。ご家族からも、取り組む姿をみて「優しい気持ちになった」、「成長を感じ、大人も見習わなければ」といった感想が多くありました。

あいさつ一つをとっても、自分から元気よく、お辞儀をしたり、ひと言付け加えたりとちょっとした意識の変化で、とても気持ちのいい交流となります。

ご家族や友だちと「これもちょボラだよ」と、これからも日々の生活の中でちょっとした思いやりのちょボラ活動を続け、自分にとっても、地域や周りの人にとっても、気持ちのいい思いやりの輪が広がることを願って、新見市社協では、今後もちょボラを推進していきます。

ご協力ありがとうございました！

